

同推協だより

No.140号

2025年1月発行

神前地区同和教育推進協議会

Email:kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp



『町別・団体別懇談会』 本年も開催されました！！

同和問題（部落差別）は被差別部落側の問題ではなく、差別する側の問題であるとの認識のもとに、町別・団体別懇談会が神前同推協設立時より始められ現在に至っています。同和問題を中心に他の人権問題も取り上げ、参加者自身の心の内にある差別心の存在に気づき、自らの差別心を無くし、差別をしない行動をするにはどうすべきか考え、参加者同士の懇談を通して、先ずは自らが差別をしない人になり、次に差別を止め無くす行動する人へと成長するのが懇談会の目的として実施され、現在も継続されています。

今までに開催された懇談会に、参加された方の感想や思いを寄稿していただきました。その中の一部を紹介します

〔地区懇談会の感想〕（武藤清さん）

懇談会でよく聞くのが「差別なんて聞いたこともないし、こんな懇談会しなくてもよいのでは」という意見です。確かに私も同推協に関わり 10 数年になりますが直接差別に出逢ったことはありません。ではなぜ懇談会や人権フェスタを行っているのでしょうか。ちょっと考えた時、交通安全と似ているところがあるのではと思いました。どちらも加害者（差別する側）にも被害者（差別される側）にもなりたくありませんね。めったに加害者にも被害者にもなるものではありませんが、その状況をずっと続けるためにも交通安全の講習や人権についての懇談会で考えることが大切なんだと思いました。



（こども園の参加者（PTAの方）より）

- 自分の事ってなかなか話にくいと思いましたが、皆さん話して下さったので、自分も話そうと思えました。大変貴重な時間でした。
- まだまだ自分でも気づかないことが、たくさんあると感じました。これを機会に色々な事に対して考えていけたらと思います。



- グループで話し合うことで、いろんな方の考えや経験等も聞くことができた。身近な人（家族など）でも捉え方や考え方が違うので強制するのではなく共有したりして自分の想いを伝えたりするだけでも相手と分かり合えたりするんだなあとし合ひで感じました。



神前地区文化祭で『人権コーナー』を出展しました！！

本年度も11月3日（日）に神前小学校で実施されました。東校舎の玄関壁面にはこども園の児童の作品、会場のサポートルームの中には、神前小学校4年生の人権ポスター、三重西小学校6年生と三滝・三重平中学生及び一般の人権標語の作品、三滝中学生の色紙、人権の木等を展示しました。子どもたちは自分や友達の世界を見る子もいましたが、なんと言ってもプラバンの作品づくりが大盛況でした。人権カルタの台紙に葉脈やハートや星等のアクセサリーを貼付けてのしおり作り等も多くの人との交流を楽しんでいただけたようでした。



人権標語と人権の木（メッセージ添付）



小学校4年生の人権ポスター



中学生の色紙とプラバン製作の様子



しおり作りの様子

展示した人権標語で共感（賛同）数の多かった作品

- きづいてよ 言えない悲しみ 見えぬ傷 三滝中学校（松尾陽菜さん作）
- やめようよ 見て見ぬ振りも いじめだよ 三滝中学校（山内葵陽さん作）
- 冗談でも 傷ついている人は きっといる 三重西小学校（6年1組 作）

♡♡♡♡ 困りごと相談したいときには下記へ ♡♡♡♡

いつ突然に私たちは困りごとに出くわすかわかりません。最近では連日投資詐欺やロマンス詐欺の発生が報道されていますが、それ以外でも外壁塗装や屋根修理等の電話や訪問による勧誘で、高額請求を受け泣き寝入りさせられた高齢者の事例のような、お金の係わることなど自身や家族こどもがいじめ・差別・ハラスメントなどを受けて傷ついたり、家族が高齢化するとともに、認知症の症状が出始めたり、病气怪我等で介護の必要を感じたときなど、日常生活の中で起こりえることで、すぐに相談相手がない時、自分の判断をより確かなものとしたり、相談することで自分の気持ちを整理したり、軽くすることや問題の解決に繋がります。そんな時には、ためらわず相談を!!

覚えておきたい相談窓口

◎警察に関する相談専用ダイヤル（詐欺・防犯・DV等） #9110

◎救急相談センター専用ダイヤル（救急車を呼ぶかどうか迷った時） #7119

◎消費者相談（悪質商法等消費者生活）（意にそぐわない押売り等） ^{い や や} 188

・四日市市 市民協働安全課 市民・消費生活係（059）354-8264

◎人権相談窓口みんなの人権 110番 ^{ゼロゼロ皆の一ひゃくとうばん} 0570-003-110

◎子どもの人権 110番 0120-007-110（無料）

◎女性の人権ホットライン 0570-070-810

・三重県の人権相談電話 059-233-5500

・三重県人権センター 059-233-5500

・四日市市の人権相談（四日市市人権センター） 059-354-8609

◎こころの健康相談統一ダイヤル ^{おこなおう まもろうよ こころ} 0570-064-556

◎いのち SOS ^{おもい ささえる} 0120-061-338 24時間対応

◎よりそいホットライン ^{つなぐ ささえる} 0120-279-338 24時間対応

◎いのちの電話 ^{なやみ こころ} 0120-783-556

◎こどものSOS受付 ^{なやみいおう} 0120-0-78310



〜〜〜 最近よく聞くカタカナ人権用語（その2）〜〜

★メディア・リテラシー：メディア：情報伝達の媒体（テレビ、新聞、ネット、動画等）。リテラシー：情報を読み取り理解し、自分の考えを表現する力（読解記述力）のこと。メディア・リテラシーとは、メディアから得た情報（自分の周りの人たちから与えられる情報を含む）を主体的に読み解き、理解し、真偽を確かめたくて発信する能力を言います。リテラシーは他に情報リテラシー、金融リテラシー、ITリテラシー等と用いられることもある。このことは自分が知り得た情報（うわさ話も含む）を鵜呑みにするのではなく、そのことが本当に正しいことか？その根拠や発信場所が信頼できるところか、先ずは疑いを持って確認することに始まり、自分が正しいと判断し納得してからでないと、他の人に発信してはならないということでもあるのです。

★リスペクト：ありのままの相手に敬意や尊重の気持ちをもつこと。（価値を認めて感服すること）（相手の価値を認めても、相手より立場が下という事ではありません）リスペクトは対話やハラスメント防止の根底にあるものです。相手が外国にルーツを持つ人であったり、障がいを持つ人であったり、子どもであったり、意見や立場が異なる人あれ、一人の人間として敬意や尊敬の念をもって接することは大切なことです。

★ハラスメント：人に対する「嫌がらせ」や「いじめ」などの迷惑行為を指します。（相手の属性や人格に関する言動、脅し、人格否定する行為、暴力などの身体的な行為暴言や無視などの精神的な行為で相手に不快感や不利益を与えること）セクハラ・パワハラ・マタハラ・モラハラ・カスハラ等多数のハラスメントが存在する。人権を侵す問題として社会的に撲滅に向けて動き始め、注目されている。

★ステレオタイプ：多くの人に浸透している先入観や思い込み、固定観念、概念、思考の型を指します。例えば「女性がか弱くておとなしい」「アメリカ人は自己主張が得意」等性別や国籍宗教といった、ある属性を持つ人に対して与えられるイメージもその一つです効率的に情報処理をする面もあるが誤った認識で偏見や差別を起こす原因となる概念。

ちょっと!ちょっと!

「人を不快にさせてしまう言葉」「誤解をされてしまう表現」をさける。だからといって「気づかい」ばかりで人とのつき合いが難しくなって情報の見極め、判断力がつかなくなったからと「人とのつながりを大切に」を合言葉にしながら「人権をまもる」「尊重する」から離れてしまっは「元も子もない」、無理をせず自然体でこれからもよろしく!

同推協啓発委員
募集中

啓発委員になっていただける方は市民センターロビーに設置してあるポストにお名前を記入して投函してください。（申込用紙は置いてあります。）お電話、FAX、メールでも構いません。啓発委員になっていただければ委員研修やイベントに参加したり、同推協の活動内容のお知らせを送らせてもらったりします。

【問合せ先】神前地区市民センター内 団体事務局 Tel・fax 327-1501（受付午後）

Email : kanzaki-do@m2.cty-net.ne.jp